



Noda City
Council News

市議会 だより

第171号

令和8年8月1日発行

6月定例会

特集 28名の議員により新たな議会がスタート

目次

特集	P.2
常任委員会	P.4
一般質問	P.6
傍聴・議会中継のご案内	P.14
審議結果	P.15
お知らせ	P.16



後列



中列



前列



特集 28名の議員により 新たな議会がスタート

市議会議員一般選挙後、初めての議会となる6月定例会新体制での議会がスタートしました。このページでは、新た

では議長、副議長の選挙をはじめ、各常任委員等の選任を行い、な野田市議会の構成を紹介させていただきます。

所属会派一覧 令和8年6月現在

のだみらい《6人》

【会 長】 谷口 早苗
【幹事長】 栗原 基起
【会 計】 安江 晃平 土屋 友紘
庄司 真生 遠藤 達也

公明党《5人》

【代 表】 椿 博文
【幹事長】 桜田 康則
【会 計】 荒川 孝子
小林 邦徳 小林 裕子

六諭会《5人》

【会 長】 竹内 美穂
【幹事長】 古橋 敏夫
【会 計】 川崎 貴志
濱田 勇次 邑楽 等

政清会《4人》

【会 長】 木名瀬宣人
【幹事長】 木村 欽一
【会 計】 深井 和幸 中村 裕介

日本共産党野田市議団《2人》

【団長・会計】 星野 幸治
寺田 敬子

民主連合《2人》

【代 表】 小椋 直樹
【幹事長・会計】 滝本 恵一

つなげる会《1人》

小室美枝子

野田の明日を考える会《1人》

金木 祐輔

いちいの会《1人》

河井 哲弥

のだのみらいを守る会《1人》

齊藤 拓樹

本会議

議会運営委員会(定数10人以内)

市議会を円滑に、かつ効率的に運営するために設けられ、会期や議案の取扱いなどについて協議します。また、議案・陳情等の審査をする権限も有しています。

委員

◎古橋 敏夫 ○椿 博文
桜田 康則 遠藤 達也
木村 欽一 栗原 基起
小椋 直樹 星野 幸治
竹内 美穂

◆議会選出の監査委員として、
木名瀬 宣人議員を選任しました。

◆千葉県後期高齢者医療広域連合議会
議員として、邑楽 等議員を選任しました。

広報委員会(定数8人以内)

のだ市議会だより及び議会ホームページの編集を行います。



委員

◎川崎 貴志 ○滝本 恵一
安江 晃平 小林 邦徳
寺田 敬子 庄司 真生
深井 和幸

令和8年6月10日就任 議長と副議長の紹介



議長 邑楽 等

六諭会所属
現在4期目
関宿台町在住
副議長、総務委員長、
環境経済委員長などを
歴任



副議長 中村 裕介

政清会所属
現在3期目
山崎在住
環境経済委員長、決算
審査特別副委員長などを
歴任

◎委員長 ○副委員長

常任委員会(それぞれ定数7人)

総務委員会

所管事項

市の施策、総合計画、自治体DX、デマンド交通の推進、情報公開制度 など

委員

◎木村 欽一 ○小林 裕子
土屋 友紘 荒川 孝子
谷口 早苗 滝本 恵一
古橋 敏夫

文教福祉委員会

所管事項

高齢者福祉及び介護保険事業、障がい者福祉、児童福祉、子ども医療費助成 など

委員

◎濱田 勇次 ○河井 哲弥
小林 邦徳 寺田 敬子
金木 祐輔 遠藤 達也
木名瀬宣人

環境経済委員会

所管事項

国民健康保険、防災その他の危機管理、商工業振興、魅力発信、消防 など

委員

◎川崎 貴志 ○桜田 康則
安江 晃平 齊藤 拓樹
中村 裕介 栗原 基起
竹内 美穂

建設委員会

所管事項

都市計画道路の整備、駅周辺のまちづくり、上下水道の整備促進及び長寿命化 など

委員

◎小椋 直樹 ○深井 和幸
庄司 真生 邑楽 等
椿 博文 星野 幸治
小室美枝子

常任委員会

レポート

野田市議会では、「総務」「環境経済」「文教福祉」「建設」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する議案等を審査しています。

総 務

令和8年度
一般会計補正予算(第1号)

広域5自治体連携による新商品開発プロジェクトが始まります

一般社団法人公民連携推進機構から事業提案があつた広域5自治体連携による新商品開発プロジェクトが国の地域未来交付金の対象事業として採択されたことから、本市のほか、茨城県八千代町、奈良県葛城市、石川県羽咋市及び福井県高浜町が連携してプロジェクトが実施されます。

具体的には、発信力の高いアイドルが地域事業者と一緒に新商品開発を行うとともに、デジタル技術の活用により地域外住民を地域イベントや新商品等の販売会に巻き込むことで地域経済の活性化が図られます。

なお、本事業に係る費用については、3分の2は国の地域未来交付金の決定を受けており、3分の1は公民連携推進機構に加盟している企業による企業版ふるさと納税により支援していただく予定とされているため、市の一般財源を使わずに実施される見込みです。

(仮称)高架下スポーツパーク整備事業が国の交付金事業に採択されました

(仮称)高架下スポーツパーク整備事業が地域未来交付金(補助率2分の1)の対象事業として採択されました。

また、株式会社日本一様からの指定寄附金5千万円を本事業の財源に充当することで、本事業に係る市債負担が皆減されます。



3×3バスケットボールコート(イメージ)

総合公園水泳場解体工事に係る補正予算が承認されました

老朽化により廃止を決定した総合公園水泳場の跡地について、室内温水プールを軸としたPFI等の民間活力の導入による整備の検討を進めているところであり、事業者の参入意欲を高めるため、建設工事に先行して既存水泳場施設の解体工事を、国の防災・安全交付金を活用しながら令和8年度から2か年の計画で実施します。

環境経済

自己完結型トイレが公衆トイレとして条例上に位置付けられました

■公衆トイレの設置及び管理に関する条例の一部改正

令和7年3月以降設置を進めてきた自己完結型トイレについて、平常時においては常設の公衆トイレとして広く市民の利用に供している実態に鑑み、新たに公衆トイレとして条例上に位置付けるため、公衆トイレの名称及び位置に関する規定が整備されました。整備された内容は次のとおりです。

名称	位置
総合公園庭球場 公衆トイレ	清水955番地の1
東金野井休憩所 公衆トイレ	東金野井728番地の1
山崎小前あそびの 広場公衆トイレ	下三ヶ尾446番地の2

※自己完結型トイレ
上水道や公共下水道に接続せず、排泄物をその場で衛生的に処理する機能を持つトイレの総称。



文教福祉

学校給食センターの整備に伴い、関連する規定が整備されました

■学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

学校給食センター整備に伴い、令和8年9月から新センターの運用が開始となることから、関連条例の位置に関する規定が改正されました。

この条例の施行期日は、8年9月1日となります。

既存の学校給食センターは建設から50年以上が経過し、老朽化が著しかったことから新たな学校給食センターの整備を行っています。既存の3千500食に加えて、単独校の給食施設更新時等の代替提供機能を持たせるため5千食規模の施設とし、新たに市内全校への米飯炊飯設備を整備するとともに、アレルギー食提供設備、空調設備等を整備しています。

6年度から8年度までの継続事業として新築工事を実施し、8年9月から稼働を開始します。



野田市学校給食センター

文教福祉

市内公立中学校の屋内運動場に空調設備が設置されます

■市立第一中学校トイレ改修及び屋内運動場等空調設備設置工事請負契約の締結等

生徒が安全、安心、快適かつ機能的にトイレを利用できるよう、第一中学校ほか4校のトイレを洋式化するとともに、老朽化した既存給排水設備の更新が行われます。

また、当該中学校の屋内運動場は、災害時の避難所に指定されていることから、災害の発生に備えて、避難者の健康を守るため冷暖房空調設備が設置されます。設備は停電時にも使用できるよう自立運転が可能な空調機を導入します。

建設

水道事業及び下水道事業に係る条例が改正されました

■水道事業の設置等に関する条例及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

地方自治法の一部改正に伴い、条例において引用している地方自治法の条項番号が改正されました。

一般質問

市政を問う



6月定例会では23人の議員が一般質問に登壇しました。こちらでは質疑と答弁を抜粋し、要約したものを紹介します。

※QRコードから、一般質問の動画をご覧くださいことができます。

介護人材の確保と 処遇改善について



のだみらい
栗原 基起
議員



問

介護支援専門員等処遇改善事業補助金の利用実績及び効果等を伺う。

答

令和6年度は48事業所113人、7年度は55事業所134人が申請されている。また、居宅介護支援事業所については、補助金開始前は40事業所130人であったものが、8年4月現在は44事業所141人となり、事業所数、従事者数ともに増加している。

さらに、市独自に介護支援専門員等に対しての直接的な給与補助に加え、ケアマネジャーの更新費用に対しても全額を助成している。こうした点は、介護支援専門員協議会との意見交換会においても感謝の言葉をいただいております。一方で、経済環境の変化や他産業との賃金格差があるため、今後の支援については現場の実態を注視し、より効果的な方策を検討していく。

他の質問

・ノーコード宣言シティーと生成AIの活用による行政サービス向上 ほか

浸水想定区域内の避難について



公明党
荒川 孝子
議員



問

浸水想定区域内にある指定避難所の避難の仕方について伺う。

答

早い段階で浸水想定区域内から区域外に立ち退き避難していただくことが重要である。

市では被害の発生が予想される場合には、気象防災アドバイザーが本市への影響を分析し、その結果を踏まえ、空振りをおそれず、早めに避難情報等を発令していくこととしている。

浸水想定区域外の避難所への立ち退きが困難な方に対しては、災害時の応援協定を締結している貸切バス事業者6者に協力いただき、浸水想定区域外の指定避難所から、浸水想定区域外の避難所までの人員輸送を行うこととしている。

なお、今年度実施する総合防災訓練の中で、貸切バス事業者との実働検証を行いたいと考えており、現在事業者と調整を行っている。

他の質問

・指定ごみ袋の記名制廃止



六諭会
古橋 敏夫
議員



若年層や子育て世帯の 移住・定住促進事業について

市の将来を見据えて移住・定住促進事業をどのように進めるのか伺う。

答

本市は、都心から30キロメートル圏内にありながら豊かな自然環境を有しており、また、子育て支援も充実した子育てしやすいまちであることが強みである。

一方で、通勤や生活の交通利便性を求めて、若者世代が市外に流出しているという課題もあり、昨年度から若者世代対象の奨学金返還支援事業や若い子育て世代対象の魅力体験ツアーを開始したところである。

また、空き家対策や空き店舗対策も喫緊の課題となっているため、企画調整課を事務局とし、企画財政部、市民生活部、都市部福祉部、健康子ども部などの職員で構成する移住・定住に向けた空き家・空き店舗活用プロジェクトチームを創設することとし、今年度内に移住・定住施策の推進体制を構築していく。

他の質問

・新堆肥センター整備の検討



政清会
木村 欽一
議員



座生川改修について

座生1号幹線排水路及び座生川の暗渠化工事の進捗状況について伺う。

答

本事業は、愛宕駅東口と清水公園駅東口のアクセス向上のため、座生川最上流の90メートルの区間について、下水道事業により座生川の暗渠化を行い、その上部の道路は、道路事業で実施することとしている。令和6年12月10日に公共下水道座生1号雨水幹線の事業認可を取得し、実施設計も概ね完了しているが、仮設計画の工事費が高額なため、より安価な工法を検討している。また、施工に支障となる水道管の移設設計業務は完成しており、暗渠化工事の進捗に合わせて移設予定である。

本体の暗渠化工事の着手は、8年度の国庫補助事業の予算配分が限定的だったため9年度にずれ込む予定だが、8年度は県との河川協議などできる限りの作業を進め、早期の完成に努める。

他の質問

・治水・利水
・交通安全対策施設



日本共産党野田市議員
星野 幸治
議員



国民健康保険料の 引下げについて

国民健康保険料の引下げを求めるが、現時点での市の考えを伺う。

答

国が目指している令和15年度の県内市町村における保険料水準の完全統一を見据えると、標準保険料との乖離が大きく、それを解消する必要があることから、保険料は毎年度改定することになっている。

令和8年度は、千葉県が示した標準保険料率の伸び率に基づき試算すると約9千円の引上げが必要となり、子ども・子育て支援金分約3千500円を合算すると、1人当たり約1万2千500円の引上げとなり、急激な負担増となる。そのため本市では法定外繰入れを実施し、7千500円の引上げに抑制し、近隣9市の中で最も低い額となっている。

9年度以降の保険料については、子ども・子育て支援金の動向を注視しつつ、社会経済情勢等を考慮し、毎年度検証していく。

他の質問

・加齢性難聴者への公的助成



民主連合

小椋 直樹

議員



人口減少対策と若者の

移住・定住促進について

問 若者の移住・定住促進に向けた取組状況について伺う。

答 本市が自然豊かで暮らしやすいまちであることを広くPRすることが重要だと考えており、令和7年度から、市外在住の未就学児とその保護者を対象として、豊かな自然や子育て支援策をPRする魅力体験ツアーを開始した。今年度は、就農移住につなげる体験ツアーの実施も予定している。

また、同じく7年度から開始した奨学金返還支援金支給事業は移住促進及び転出抑制を目的とし、大学等を卒業した39歳までの方を対象に一定の条件の下、補助を実施している。

さらに、結婚新生活支援事業では、住宅取得費用等に補助金を交付し、若者の定住促進を図っている。

他の質問

・市長選挙及び市議会議員選挙における電子投票の導入



つなげる会

小室 美枝子

議員



利根川水系の戸倉ダム及び

倉沢ダム計画について

問 利根川水系のダム計画復活の報道について、市が持っている情報を伺う。

答 国土交通省関東地方整備局は、近年の気候変動による豪雨災害の激甚化を踏まえ、令和7年3月に利根川水系利根川・江戸川河川整備計画を変更し、治水機能増強検討調査を行うことを明記した。

この調査では、基準地点である八斗島^{やったしま}において必要な洪水調節機能を確保するため、既設ダム等を最大限活用した事前放流や操作方法の見直し、治水・利水の貯水容量の再編等に加え、既設ダムの放流能力の増強や堤体の嵩上げの検討をしている。さらには、過去に事業を中止したダム予定地の活用も選択肢から排除せずに検討が進められているが、現時点では、戸倉ダム・倉沢ダムも含めて具体的に事業化する対策は決定していないと伺っている。

他の質問

・RSウイルスワクチン接種
・公共施設の空調設備不具合時の対応 ほか



野田の明日を考える会

金木 祐輔

議員



総合公園陸上競技場の

再公認について

問 今後の再公認にむけて市の見解を伺う。

答 総合公園陸上競技場の再公認には、競技規則改正に伴うレーン幅の変更や全天候舗装の全面改修、走路レベルの不均衡等を解消するための地盤改良などが必要であり、多額の費用と大規模工事を要することから、公共施設全体の優先順位を勘案し、公認継続を断念せざるを得なかったものである。

今後の整備は、前述の優先順位と、主な財源である社会資本整備総合交付金等の活用を図るべく、令和7年度に作成した公園施設長寿命化計画において12年度から13年度の2か年で実施する方針としている。

老朽化した施設の更新が喫緊の課題となる中、市としては、今後も限られた財源を最大限活用し、総合公園の魅力を維持・向上させるべく、施設整備を推進していく。

他の質問

・サイクリングロード利根川ルート



いちいの会
河井 哲弥
議員



外国人住民との共生と安全・ 安心なまちづくりについて

外国人住民の生活相談やトラブルの
現状、他機関との連携について伺う。

問

令和7年度に市長への手紙や市政
メール等で、市に寄せられた意見や
問合せは2件となっている。いずれも同じ
市民の方からによるもので、内容は、外国人
が集まる集会施設へ自動車で訪れる方によ
る交通渋滞及び運転マナーに関するものと
なっている。また、施設の建設反対や特定の
宗教や国籍の方を排斥するかのようなもの
が17件あった。なお、市の窓口や電話での一
般的な相談については件数を把握していな
いが、内容としては、土地の賃貸借トラブル
騒音、ごみの分別や収集日を間違えている
ことなどである。

他機関との連携については、例えば自動
車のヤードに関することは千葉県、交通違
反に関するところは野田警察署など、日本人
の場合と同様に対応している。

他の質問

・命を守る防災対策 ほか



のだのみらいを守る会
齊藤 拓樹
議員



農家への支援について

物価高騰による農家への新たな支援
策を伺う。

問

物価高騰による農家への新たな支援
策を伺う。

また、作物を育てる上で欠かすことで
きない肥料についても、石油関連製品と同
様に値上がり傾向が続いていることから、
農家への速やかな支援が求められているが、
既に市では、堆肥センターにより安心、安全
な堆肥を供給しており、剪定枝堆肥におい
ては無料、もみ殻牛ふん混合堆肥を安価に
て配布している。

今後、状況が悪化し、国が主体的な対策を
講じた場合は、市も速やかな情報提供と、対
象となる方々への申請支援を行っていくも
のとし、引き続き、国や県の動向を確認しな
がら、必要に応じ財政的な支援を検討して
いきたい。

他の質問

・外国人住民への対応



のだのみらい
庄司 真生
議員



野田市駅前の活性化について

民間事業者の参入促進や民間活力の
導入について市の考えを伺う。

問

野田市駅西土地区画整理事業地内
に、官民連携による複合施設等の誘
致活動を行っているが、商業者は沿道から
のアクセスがよい県道野田牛久線の整備時
期を見極めていく状況から、協議に苦慮し
ている。そのため、県道の早期整備に向け、
今年度より国、県に対し土地区画整理事業
に重点を置いた補助金の要望を行うことも
に、引き続き誘致活動を続けている。そのよ
うな中、野田の食を盛り上げる会より、野田
市駅前で夕焼けマルシェを開催したいとの
要望を受け、地域経済の底上げにもつな
がるものと考え、後援することとした。4月に
開催の第四回目では13店舗が出店し、来場
者は千400名程まで増えており、良い成功事
例となっている。今後も、野田市らしさを生
かしながら、駅前で過ごしたいと思える空
間を創出していきたいと考えている。

他の質問

・のだ防災まちづくり学校の開講



公明党
小林 邦徳

議員



高齢者移動支援について

問

まめバス利用者の利用目的と利用状況について伺う。

答

令和6年10月から新たな運行計画により12ルート全208便で運行している。

7年度の利用者数は31万198人であり、同年度中に実施した利用者アンケートでは、回答者695人のうち、約半数の343人が65歳以上の高齢者であった。高齢者の利用目的は買い物や私事による利用が最も多く、次が通院による利用であった。また、主な行き先としてはノア前が最も多く、市役所、川間駅やキッコーマン病院の利用が上位となっている。

本市は地形の特徴から多くの交通空白地域が存在していることに加え、高齢化の進展に伴う移動の支援が課題であることから、これを解決するためデマンド交通の導入を進めている。

タクシー事業者との協議によりデマンド交通の検討を進め、今年度中に方向性を決定できるよう取り組む。



六諭会
竹内 美穂

議員



自治会の在り方と新しいコミュニティづくりについて

問

自治会運営の見直しについて、市の見解を伺う。

答

総務省の地域コミュニティに関する研究会報告書では、地域コミュニティの様々な主体間の連携が挙げられており、多様な主体が連携、協働し、課題解決の担い手として、主体的に関わっていく環境の整備が必要とされている。

本市においても、防災分野では、のだ防災まちづくり学校への取組や、地域福祉の分野では、高齢者や子供の居場所として、自治会が地域の活動団体と連携し取組を進めている事例も見られる。今後は、自治会及び自治会連合会などの地域の皆様とともに、培われた伝統を尊重しつつ、時代の変化にも対応した持続可能な自治会運営と、新しいコミュニティづくりの研究を進めていく。

他の質問

・虐待防止条例の実効性



政清会
深井 和幸

議員



新たな防災気象情報について

問

これまでの防災気象情報との主な変更点と新たな制度の周知方法について

答

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分りにくいという課題から、気象庁において河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に係る防災気象情報を5段階の警戒レベルに合わせ整理するとともに、レベル4相当の情報として危険警報が新設された。

これに伴い、市が迅速に避難情報等を発令できる体制を構築するため、気象アドバイザーを中心として、全職員対象の説明会や関係職員への勉強会を開催した。

市民に対しては、市報、ホームページでの周知や、デジタルサイネージの活用、公共施設等へのチラシ配布を行うとともに、SNSでも周知を行っている。

引き続き自治会、自主防災組織に対する防災講話、小中学校への出前講座、のだ防災まちづくり学校など、あらゆる機会を活用し、市民の皆様に周知していく。

他の質問

・子ども子育て支援金 ほか



日本共産党野田市議員
寺田 敬子



不登校または教室に入れない 子供たちへの対策について

問 校内教育支援センターの近隣市の設置状況と本市の検討状況を伺う。

答 管内他市の設置状況は、流山市を除く4市については、全ての小中学校に設置されており、そのうち我孫子市と鎌ヶ谷市は専属の職員が全校に配置されている。流山市は中学校のみ全校に設置され、専属の職員が配置されている。

本市では南部中、東部中、木間ヶ瀬中、二川中が県の不登校児童生徒支援推進校に指定され、県の加配教員が配置されている。また、市の不登校児童生徒支援事業研究指定校として南部小と北部中を指定し、児童生徒が安心して過ごせる環境づくりと個々の状況に応じたきめ細やかな学習支援や相談対応を行っている。

市は、校内教育支援センターを設置する意義は大きいと考えており、きめ細やかな支援と多様な居場所の充実に努めていく。

他の質問

・中学校の給食無償化



民主連合
滝本 恵一



駅前送迎保育ステーションの 設置について

問 駅周辺での施設整備の可能性について伺う。

答 駅周辺での施設整備については、これまで市内各駅において、民間活力の活用等により徒歩圏内の保育施設整備を推進してきた。現在の市内児童数は減少傾向にあり、保育需要も近年中にピークを迎える見込みであることから、将来的に保育供給が過剰とならないよう十分留意しつつ、今後も適切な需要把握に努める。

また、野田市駅の高架下空間を活用した駅前送迎保育ステーションの整備については近隣市の設置駅と比べて乗客数に大きな差があること等から考えていないが、現在整備中の野田市駅西土地区画整理事業地内に子育て・公共サービス、商業の誘致をコンセプトとする街区もあるため最終的には地権者の意向によるが、民間活力を活用した整備も検討していく。

他の質問

・子ども食堂 ほか



のだみらい
谷口 早苗



民間駐輪場使用料助成金の 拡充と手続の簡素化について

問 助成金申請の簡素化及び助成額の引上げについて市の見解を伺う。

答 助成金申請の簡素化については、これまで紙ベースで提出いただいたいた領収書等の添付書類を本年10月からは電子申請で受け付け、利用者の負担軽減を図っていく。

助成金の引上げについては、学生の通学環境の維持や、子育て世帯、学生の経済的な負担軽減策は非常に重要であると考えているが、本助成金は市営を利用する学生と民営を利用する学生との料金均衡を図るため、民営を使用する学生または当該学生の保護者を対象として設けている。

また、学生の通学手段は様々であり、公平性の観点から、民間自転車駐輪場を利用する学生に限定したさらなる負担軽減は考えていない。

他の質問

・外国人へのごみ出しルールの周知と
トラブル解決に向けた取組



公明党
小林 裕子
議員



義務教育学校整備事業について

問

小規模特認校廃止後の対応について伺う。

答

現在の小規模特認校制度は、令和9年度末で廃止し、10年度に開校する福田地区義務教育学校では、少人数教育の良さを生かしたきめ細かな指導などの、特色ある教育活動を実施していく新たな特認校制度を導入する。

現在の福田第二小学校の小規模特認校制度利用者も、制度を利用して義務教育学校へ通うことができる。

福田地区義務教育学校では、福田第二小学校と全く同じ環境をつくることはできないが、同校でこれまで培ってきた少人数教育の良さを生かすとともに、小中一貫教育のメリットを生かし、9年間の発達段階に応じたきめ細かな指導等の特色ある教育活動を実施していき、児童生徒が通いたいと思えるような魅力ある学校としていきたいと考えている。

他の質問

・白鷺川のしゅんせつ事業



六諭会
川崎 貴志
議員



行政評価制度の導入について

問

行政評価制度導入について市の見解を伺う。

答

行政評価制度の導入には、実効性のある制度が必要だと考えている。

行政評価の目的は、市民への説明責任の向上、効果的効率的な行政運営、PDCAサイクルの確立が挙げられるが、このうち、市民への説明責任を果たそうとすると画一的統一的な制度になり、実効性が薄れてしまう問題がある。

国においては、従来の画一的な制度運用の見直しを行っており、これは自治体の行政評価にも当てはまると考えている。

本市においても各施策や事業の特性に応じた確かな行政評価制度を確立したく、試行的に令和8年度決算を審査する9年9月議会において、行政報告書とは別に、参考図書として行政評価調書の提出を考えている。今後、市議会と協議しながら野田市版行政評価制度を確立していきたい。

他の質問

・子ども未来教室



のだみらい
安江 晃平
議員



市公式ラインのさらなる活用について

問

今後のリッチメニューの拡充の考えについて伺う。

答

本市では令和7年5月にリッチメニュー(※)を導入し、ごみ分別アプリや電子申請ページにワンタッチでアクセスできるようにしている。

現在は無料で利用できる範囲での運用を行っているが、さらなる利便性向上のためには、メニューの拡充が有効であると考えている。大幅な拡充等には、有料サービスへの移行が必要であり、事業者への聞き取り等、丁寧に検証する必要がある。

これからDXが進行する中で、アクセスのわかりやすい入り口として、ラインがその有力候補の一つであると認識している。より便利で使いやすい公式ラインとなるよう、今後も引き続き検討を進めていく。

他の質問

・消防団の認知度向上及び入団促進

※リッチメニュー
ライン公式アカウントのトーク画面下部に常時固定表示されるタイル状のメニュー機能



六諭会
濱田 勇次
議員



朝の小1の壁、小学校における朝の居場所づくりについて

問

保護者からの要望、見守り人材、今後の本市の取組、見解について伺う。

答

現在、朝の居場所づくりについて保護者からの問合せや要望はないが、潜在的な需要も考えられることから、全校及び来年度入学予定の保護者を対象に調査し、要望を確認していく。

近隣の船橋市と松戸市では、朝の居場所づくり事業が実施されており、見守り人材はシルバー人材センターに委託している。船橋市は、5校で実施され、各校に3名のシルバー人材を雇用し、文部科学省の学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金を財源としている。

今後の取組、見解について、現在、早朝開校の予定はないが、今後実施する調査結果における保護者の潜在的な需要や、他自治体の先行事例、学校現場への影響などを考慮し、検討していく。

他の質問

・ケアマネジャーのシャドウワーク ほか



のだみらい
土屋 友紘
議員



指定ごみ袋記名制の見直しにおける課題及び方針について

問

指導体制の厳格化や、罰則規定を設ける意向があるか伺う。

答

他自治体では違反者に過料を科す例もあるが、ごみ袋を開封しての排出者特定には膨大な労力を要し、実効性の面でも課題が多いのが実情である。

そのためこれまでどおり廃棄物減量等推進員の皆様と市との協力体制を維持していくことが最善であると考えており、罰則規定を設ける意向はない。

なお、令和元年以降に記名制を廃止した自治体に、その後の状況や違反ごみ対策について確認したところ、不法投棄や違反ごみの増加などの影響は見られなかったと回答があった。

また廃止に向けた特別な策は講じていないが、ごみ排出量については減少しているとのことである。

他の質問

・職員におけるハラスメント対策の実効性及び評価



のだみらい
遠藤 達也
議員



投票に関する取組について

問

投票率向上に向けた市の取組について伺う。

答

選挙人の利便性向上対策として、市内全ての期日前投票所を公示日の翌日から一斉に開設している。

また、選挙啓発として、明るい選挙推進協議会委員による街頭啓発のほか、若い有権者に対する選挙周知と投票率の向上を目指し、市内の保育所等に通う子供に折り紙を配布し、保護者への選挙周知を図っている。

選挙時以外では、小中高生に対し、明るい選挙書き初め展等の実施とともに、選挙出前授業や成人式啓発を行い、将来の投票率向上を見据えた活動を継続している。

投票率は様々な要因が総合的に影響するといわれている。また、法律により行政として啓発できる範囲は制限されてしまうが、その中でもより多くの有権者が選挙に参加していただけるよう、効果的と思われる取組について、今後も調査研究していく。

他の質問

・市の行政評価に関して

傍聴・議会中継のご案内

本会議は原則公開されており、どなたでも傍聴することができます。また、議会中継も行っていますので、市政を身近に知るためにもぜひご覧ください。

なお、令和8年6月定例会では、延べ118人の方が傍聴され、延べ4,210人の方がライブ中継を視聴されました。

傍聴のご案内



議場の傍聴席

本会議の傍聴を希望する方は、本会議当日、市役所低層棟5階の傍聴受付までお越しください。

開議予定時刻の10分前から随時、受付を行っています。定員は74名(うち2名は車いす専用)です。

また、常任委員会等の傍聴を希望する方は、委員会当日、市役所低層棟3階の議会事務局までお越しください。委員長の許可により、傍聴することができます。

本会議、常任委員会等の日程は、16ページに掲載の9月定例会のお知らせをご覧ください。なお、傍聴の際の注意事項は、右のQRコードのページに掲載されていますので、事前にご確認ください。

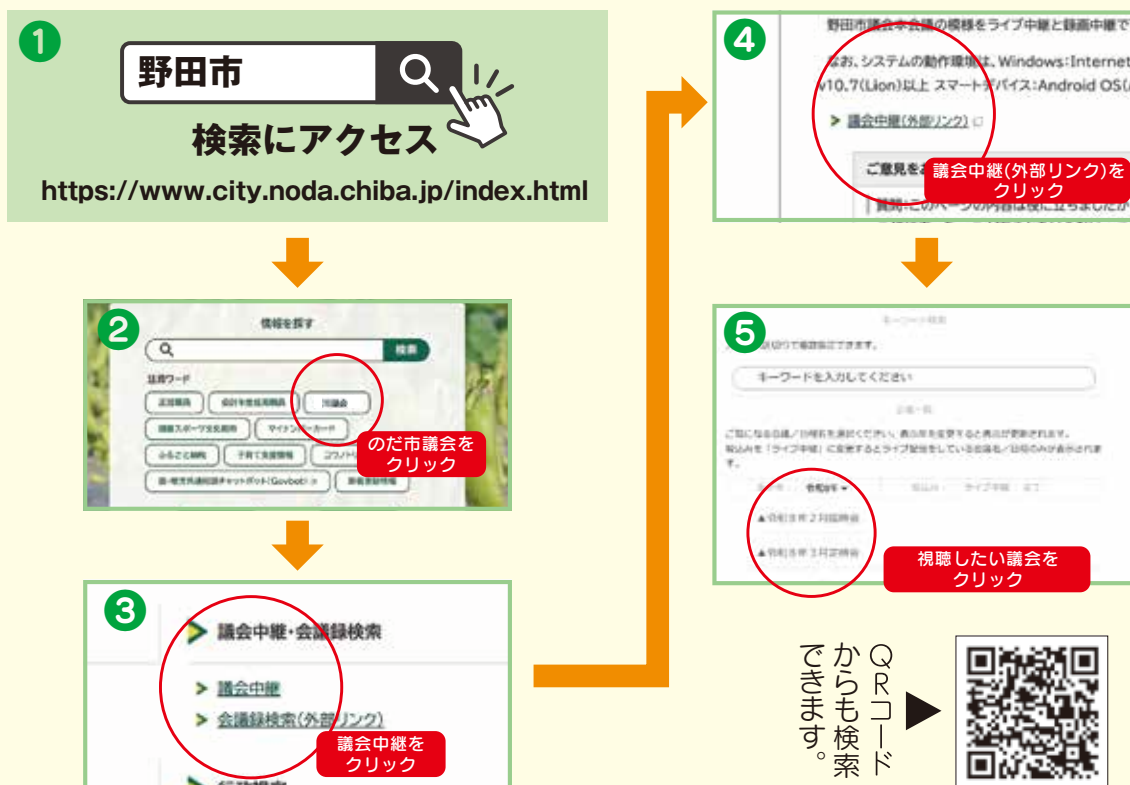


インターネットで本会議の生中継・録画放映がご覧になれます

インターネットに接続することにより、ご自宅でも本会議の様々をご覧いただくことができます。放映は本会議のみでライブ中継と録画放映を行っています。

ライブ中継は3月、6月、9月、12月に開催する定例会及び臨時会開催中にパソコン、タブレット端末、スマートフォン等でご覧いただくことができます。

録画放映は、本会議開催日のおおむね3日後(土・日・休日は日数から除く)から視聴できます。



※議会中継の視聴は無料ですが、視聴に対する通信料等が発生しますので、ご注意ください。

議案等の審議結果

6月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果
認 第 1 号	専決処分の承認（税賦課徴収条例の一部改正）	承認・全会一致
議案第 1 号	税賦課徴収条例の一部改正	可決・全会一致
議案第 2 号	職員定数条例の一部改正	可決・全会一致
議案第 3 号	公衆トイレの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第 4 号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決・全会一致
議案第 5 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決・全会一致
議案第 6 号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決・全会一致
議案第 7 号	学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第 8 号	水道事業の設置等に関する条例及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第 9 号	清掃工場機械修繕工事請負契約の締結	可決・全会一致
議案第10号	高規格救急自動車の購入	可決・全会一致
議案第11号	市立小中学校学習用端末の購入	可決・全会一致
議案第12号	令和8年度一般会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
議案第13号	監査委員の選任（木名瀬 宣人氏）	同意・全会一致
議案第14号	市立第一中学校トイレ改修及び屋内運動場等空調設備設置工事請負契約の締結	可決・全会一致
議案第15号	市立東部中学校トイレ改修及び屋内運動場空調設備設置工事請負契約の締結	可決・全会一致
議案第16号	市立川間中学校トイレ改修及び屋内運動場空調設備設置工事請負契約の締結	可決・全会一致
議案第17号	市立木間ヶ瀬中学校トイレ改修及び屋内運動場空調設備設置工事請負契約の締結	可決・全会一致
議案第18号	市立関宿中学校トイレ改修及び屋内運動場等空調設備設置工事請負契約の締結	可決・全会一致
議案第19号	農業委員会委員の任命(荒木 大輔氏)	同意・全会一致
議案第20号	農業委員会委員の任命(飯田 多寿子氏)	同意・全会一致
議案第21号	農業委員会委員の任命(石塚 正夫氏)	同意・全会一致
議案第22号	農業委員会委員の任命(糸川 幸夫氏)	同意・全会一致
議案第23号	農業委員会委員の任命(宇佐見 稔久氏)	同意・全会一致
議案第24号	農業委員会委員の任命(遠藤 一浩氏)	同意・全会一致
議案第25号	農業委員会委員の任命(川邊 茂氏)	同意・全会一致
議案第26号	農業委員会委員の任命(後藤 和久氏)	同意・全会一致
議案第27号	農業委員会委員の任命(篠崎 達夫氏)	同意・全会一致
議案第28号	農業委員会委員の任命(筑井 正氏)	同意・全会一致
議案第29号	農業委員会委員の任命(鳩貝 直子氏)	同意・全会一致
議案第30号	農業委員会委員の任命(山田 賢一氏)	同意・全会一致
議案第31号	農業委員会委員の任命(吉岡 清美氏)	同意・全会一致

発議番号	件名	審議結果
発議第 1 号	医療保険制度改正法について拙速な審議に抗議し、改正点の撤廃を求める意見書	否決・賛成少数

市議会ホームページには、審議結果のうち賛否が分かれたものについての議員別表決結果などを詳しく掲載しております。

<https://www.city.noda.chiba.jp/gikai/1028233/1028235/1051052.html>



9月定例会のお知らせ

8月31日 月曜日

開会の予定です

日程は8月25日(火)に開催予定の議会運営委員会で正式に決定します。

定例会の日程は市議会ホームページでもご覧いただけます。

開 会

8月31日(月)

9月 8日(火)

9(水)

10(木)

11(金)

14(月)

15(火)

16(水)

17(木)

18(金)

28(月)

閉 会

会期の決定、議案上程、
市政一般報告
提案理由説明、議案質疑、委員会付託

一般質問

常任委員会
(議案等の審査)

決算審査特別委員会
(令和7年度各会計決算の審査)

委員長報告、質疑、討論、採決

編集後記

暦の上では夏も終盤を迎えましたが、例年と同様に暑さが続きそうですね。

改選後初の議会だよりになります。議員の集合写真、正副議長をはじめ、各委員会の委員、正副委員長、各会派の構成などを中心にご紹介しました。2年ごとに交代する広報委員も連続3回目となりますが、初心に返って、分かりやすく親しみやすい議会だよりを目指して編集に携わりたいと思います。よろしくお願いいたします。

広報委員長 川崎 貴志

全国市議会議長会から感謝状が授与されました。

第102回定期総会において、
全国市議会議長会評議員を務めました
議員に感謝状が授与されました。

古橋 敏夫 議員

相続の手続きを丸ごとお引き受けいたします！

亡くなった後の手続きは
こんなに大変です！！

1. 親が亡くなった後、最初に迎えるピンチ！
預金口座の凍結を解除するには！
2. 申告ミスすると「追加金」！
知らなかったでは済まされない相続税の申告
3. 一つでも忘れると、あとが大変。
役所に出す書類、役所でもらう書類

このような煩雑な相続のお手続きは、
私たち専門家にお任せください！

一般社団法人 相続手続支援機構

TEL 0120-888-381

税理士法人 永光パートナーズ

こんなお悩みはございませんか？

- ・ 平日は仕事で、役所に行く時間がない
- ・ 相続が発生したが、何をしたらよいかわからない
- ・ 専門家に任せるにしてもどの専門家に任せてよいかわからない
- ・ 高齢のため自分で手続きを進めるのは体力的にも限界が...



個別無料相談は
こちらを読み込んで
お申し込みください

のだ
市議会
だより

No.171 令和8年8月1日発行／野田市議会広報委員会

〒278-8550 千葉県野田市鶴奉 7-1 TEL.04-7124-0109

野田市議会ホームページ <https://www.city.noda.chiba.jp/gikai/index.html>

野田市議会

検索

